（様式2） 実行計画管理シート

事業名	2	防災啓発事業	部・課	市民安全部　危機管理室

総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち
	施策目標等		1　災害に対する備えができているまち
	（関連施策目標等）		2　災害時に、迅速・的確に対応できるまち
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		
総合戦略との関係	基本目標		
	施策目標		
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明		
	2016(H28)年度市政運営方針	○	自助・共助を促進するため、さまざまなイベントに防災ブースを出展するなど、防災意識の向上を図る。
	2017(H29)年度市政運営方針		
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	市民の防災意識を高めるため、非常時持ち出し品の確保など防災知識の普及を図るとともに、防災マップなどによる防災情報の共有化を進める。

取り組み状況

これまでの取り組み状況		全面改訂を行った防災マップを平成27年5月に全戸配布し、同マップの点字・音訳版・外国語版（英語、中国語、ハングル、スペイン、ポルトガル）を平成28年3月に作成した。 また、ひらかたまつりや、NPOが主催するひらかた防災学校等、市の主催するイベント以外でも防災に関するブース出展を行い、防災意識の向上を継続的に図ってきた。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・非常時持ち出し品の確保や避難行動の事前確認など防災意識の啓発 ・市内の各種イベントを活用した防災備蓄品の展示など防災ブースの出展 ・防災マップ利用し、出前講座等で地域の災害リスクを周知し、対策や事前の備えについて啓発を実施。
	実績（評価）	市内で開催されるイベントを活用し防災啓発ブースを8回（9日）出展し、来訪者は約1,860名、防災クイズ参加等によるグッズ配布418個。 主に地域自治会等を対象として防災出前講座を25回実施。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	水防法改正に伴い、平成29年6月に淀川の浸水想定区域について見直しがあったため、防災マップの改定が必要である。加えて今後、水位周知河川（3河川）についても浸水想定区域の見直しが見込まれる。 また、防災啓発ブースの出展は、多くの市民に防災知識を身近に感じてもらえる貴重な機会であるため、より多くの出展をめざす。		
今後の対応	淀川の浸水想定区域のシェイプデータを入手し、防災マップの改定を行なう。水位周知河川については、浸水想定区域の見直しについて動向を注視する。 市制70周年に関連して多くのイベントが予定されているため、イベント内容や日時について情報収集に努め、積極的に防災啓発ブースの出展を行なう。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
防災啓発ブース出展数			－	－	9				28	日
指標の説明										
イベントへ防災啓発ブースを出展した延べ日数			平成28年度より啓発事業として開始し、9日間の出展実績。							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	5,645						5,645
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）